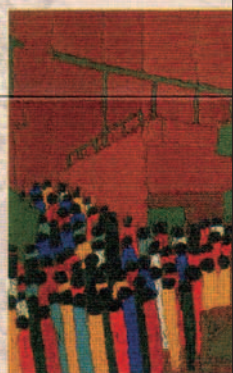


SADAO
NAKAMURA



探究の旅、
描きとめる熱情



四大文明の源流を求めて

〈特別展〉
洋画家 中村貞夫

〔第一会場〕 大阪大学総合学術博物館 第11回特別展
描きとめる熱情 洋画家 中村貞夫——その芸術の起源から富士へ

大阪大学総合学術博物館・待兼山修学館

平成30年(2018)4月27日(金)～6月30日(土)

開館時間：10:30～17:00(入館は16:30まで) 入場無料

※休館日：日曜日・祝日、ただし4月29日(日)、30日(月・祝)は開館

〔第二会場〕 描きとめる熱情 洋画家 中村貞夫——世界四大文明の源流を求めて

豊中市立文化芸術センター 展示室

平成30年(2018)4月27日(金)～5月27日(日)

開館時間：11:00～19:00 入場無料

※休館日：月曜日、ただし4月30日(月・祝)は開館、翌5月1日休館



主催：大阪大学社会学共創本部／総合学術博物館、豊中市、豊中市市民ホール指定管理者、毎日新聞社

共催：かんさい・大学ミュージアム連携、北大阪ミュージアム・ネットワーク

協力：畑田家住宅活用保存会、大阪大学21世紀懐徳堂

探究の旅、描きとめる熱情—洋画家 中村貞夫

中村貞夫は、昭和9(1934)年大阪市生まれ、府立大手前高校在学中に新制作展に初入選し、大阪大学文学部仏文科に進んでからも小磯良平、伊藤継郎に師事した。昭和44(1969)年に新制作協会会員に推挙され、翌年に安井賞展に出品する。初期の抽象的傾向を見せる作品から中期の《燔祭》など絵具の材質感を意識した重厚な画風を経て、昭和60(1985)年からは《富士》の四季を描いた連作を発表し、大地のような物質感と、ミルクのように白く耀く大画面に雄大な風景を描く画風を確立した。

四大文明誕生の地に滔々と流れる河川の源流を旅し、“水”の流れを描こうと志したのが60歳である。最初は、ナイル川の源流から河口までをたどり、つづいてパキстанを拠点にインダスシリーズに取り組む。70歳を越えて黄河と対峙した成果は、平成24(2012)年、北京の中国国家博物館での日中国交正常化40周年記念事業「黄河—中村貞夫展」などでも公開された。最後のメソポタミアは政情不安であったが、ノアの方舟伝説が残るアララト山に到達している。

本展覧会は、中村の画業を二会場で公開する。大阪大学総合学術博物館では、学生時代の初期作から中期の作品、富士や四大文明の連作、制作の基礎となったスケッチなどをとりあげ、中村の画業のあり方の根底を問う。豊中市立文化芸術センターでは、四大文明を描いた中村の大作を展示し、その壮大な世界を広く公開する。

混迷する世界情勢の中、人類の文明の根源、そして“光”を求めて世界を旅した美術家が各地で見たものがなにか、二会場約50点の作品と資料で問いたい。

I 記念講演会

日 時：5月3日(木・祝) 13時～16時(12時30分受付開始)
場 所：豊中市立文化芸術センター 多目的室
定 員：150名 入場無料 ※応募方法は下記参照
講 演：「文明と哲学」鷺田 清一(京都市立芸術大学学長、元大阪大学総長)
「中村貞夫の芸術」橋爪 節也(大阪大学総合学術博物館教授、文学研究科兼任)
座談会：中村 貞夫、鷺田 清一、橋爪 節也

IV ミュージアムコンサート

日 時：5月20日(日) 17時～
場 所：豊中市立文化芸術センター 展示室
定 員：約50人 入場無料
シタール演奏：田中峰彦(大阪音楽大学講師)
当日先着順(入場制限を行う可能性があります)

II スペシャルトーク「歴代博物館長、画伯に迫る—“世界四大文明”に寄せて」

日 時：5月12日(土) 14時～16時(13時30分開場)
場 所：大阪大学会館1Fアセンブリーホール(豊中キャンパス内)
※入場無料、当日先着順
出 演：中村 貞夫、永田 靖(大阪大学総合学術博物館館長)
肥塚 隆(大阪大学名誉教授)、江口 太郎(大阪大学名誉教授)
橋爪 節也(大阪大学総合学術博物館教授、文学研究科教授兼任)

V ミュージアムレクチャー

日 時：①6月2日(土) 13時30分～15時(13時開場)
②6月16日(土) 13時30分～15時(13時開場)
場 所：大阪大学総合学術博物館・待兼山修学館3階セミナー室(当日先着順)
内 容：①「四大文明への道」中村 貞夫
②「中村貞夫とその周辺」竹中 哲也(大阪大学総合学術博物館研究員)

III ワークショップ

日 時：5月20日(日) 14時～16時(13時30分受付開始)
場 所：豊中市立文化芸術センター 多目的室
内 容：ミニ講義と絵画制作「民族音楽を聴きながら(四大文明をイメージして)」
講 師：中村 貞夫
シタール演奏：田中峰彦(大阪音楽大学講師)
対 象：小・中学生(保護者同伴可) ※定員100名 ※応募方法は下記参照

VI ギャラリートーク

豊中市文化芸術センター
4月29日、5月6日、13日、27日(いずれも日曜日)
大阪大学総合学術博物館
6月9日、23日(いずれも土曜日)
※各展覧会場にて 14時より開始

応募方法

①往復はがきでのお申し込み

往信面に、住所、氏名、電話番号、年齢、参加希望イベントを、返信宛名面に住所、氏名を明記のうえ、下記までお送りください。

〒561-8501 豊中市中桜塚3-1-1 豊中市都市活力部文化芸術課中村貞夫展係

②電子メールでのお申し込み

豊中市ホームページからお申し込みください。

※複数名でお申し込みの場合、同伴者全員の情報をご記入ください。

※記念講演会は4/19(木)、ワークショップは5/2(水) 必着

応募者多数の場合は抽選を行います。

表面の作品



- ①《自画像》(部分) 1950年
- ②《新雪の山》(部分) 2003年
- ③《アニ遺跡・聖堂内部》(部分) 2014年
- ④《ゲガルド修道院内部》2014年
- ⑤《機械》(部分) 1960年
- ⑥《セリスト》1959年
- ⑦《風景のコンポジション》(部分) 1952年
- ⑧《燔祭2》(部分) 1964年
- ⑨《穴を狙う》(部分) 1956年
- ⑩《無題1》(部分) 1961年

①、⑤、⑥、⑦、⑧、⑨、⑩は大阪大学総合学術博物館会場にて展示
②、③、④は豊中市立文化芸術センター会場にて展示



〔第一会場〕

大阪大学総合学術博物館・待兼山修学館

〒560-0043 豊中市待兼山町1-20

Tel.06-6850-6284

<http://www.museum.osaka-u.ac.jp>

阪急電鉄宝塚線・石橋駅より徒歩約10分

大阪モノレール・柴原駅より徒歩約20分



〔第二会場〕

豊中市立文化芸術センター

〒561-0802 豊中市曾根東町3-7-2

Tel. 06-6864-5000 (10:00～19:00)

阪急電鉄宝塚線・曾根駅より徒歩約5分